

## 令和 7 年 度 第 4 回

東京都後期高齢者医療広域連合運営会議

東京都後期高齢者医療広域連合運営会議 会長 様

東京都後期高齢者医療広域連合

広域連合長 吉住 健一

## 審議依頼

東京都後期高齢者医療広域連合運営会議条例第 2 条の規定による提言をしていた  
だくため、下記の事項について東京都後期高齢者医療広域連合運営会議における審  
議を依頼します。

## 記

## 1 東京都後期高齢者医療広域連合第 3 期広域計画について

## 【審議を依頼する理由】

東京都後期高齢者医療広域連合広域計画（以下「広域計画」という。）は、地方自治法第 291 条の 7 及び東京都後期高齢者医療広域連合規約第 5 条に基づき、広域連合と市区町村の役割分担等を定め、後期高齢者医療制度に係る事務を総合的かつ計画的に推進するために策定しているものである。現在の第 2 期広域計画は、令和 9 年度をもって計画期間が満了となる。

その満了を目前にして、いわゆる団塊の世代の全てが令和 7 年中に 75 歳を迎え後期高齢者医療制度の被保険者となる中、全世代型社会保障の構築等、後期高齢者医療制度を取り巻く環境が大きく変化している。また、増大を続ける医療費の適正化と被保険者の健康の保持・増進など、保険者機能の更なる発揮も求められている。こうした状況を踏まえ、引き続き市区町村等と連携を図り後期高齢者が安心して医療を受けられるよう、現状及び課題、社会情勢並びに医療制度を取り巻く環境の変化等を的確に把握しなければならない。次期広域計画の策定に当たっては、それらの把握のもと、今後の施策の方向性について更なる見直しを行うとともに、被保険者にとって一層分かりやすく、かつ実効性の高い計画とする必要がある。

運営会議におかれては、施策の方向性や計画全体の構成等も含め、幅広い視点からご審議の上、ご意見を賜りたい。

以上の状況を勘案し、令和 10 年度からの第 3 期広域計画の策定に向けて、令和 9 年度に提言をいただくべく、ここに審議を依頼するものである。